◆三田市民病院経営健全化計画「評価シート」

＜ホームページ掲載用＞

大分類		取　組　項　目	取組・検討内容	最　終 目標係数等	R3(2021)年度 計画	実績	差異	外　部　評　価 Aアドバイザー	Bアドバイザー	Cアドバイザー	Dアドバイザー	Eアドバイザー	令和2年度 決算-総合評価- A=3点、B=2点、C=1点、D=0点 合計点	平均点	⇒	総合評価 (四捨五入)
収益確保	1	救急搬送件数の確保	(1)断らない救急体制を目指し、機能向上を目指す。 (2)循環器系疾患（心・脳）の対応強化 (3)救急医療管理加算、救急医療係数の向上	250/月	3,600	3,329	-271	C	B	B	C	A	9.0	1.8	⇒	B
	2	手術件数の増	(1)全身麻酔件数の増 (2)手術室の稼働率の向上（時間内） (3)ダヴィンチ手術の充実 (4)腹腔鏡下手術のさらなる充実 (5)人工関節センターの充実 (6)外保連手術指数の向上	3,000/年 以上	3,140	2,825	-315	C	C	C	C	C	5.0	1.0	⇒	C
	3	分娩件数の維持	(1)地域の周産期医療体制の維持	400/年	360	263	-97	C	C	C	C	C	5.0	1.0	⇒	C
	4	新入院患者数の増	(1)地域医療連携の強化による紹介入院の獲得 (2)専門外来の充実	1日あたり 20人以上	8,200	7,490	-710	C	B	C	C	B	7.0	1.4	⇒	C
	5	医療収益単価の向上	(1)急性期医療等に関する加算・指導料の施設基準取得。 (2)ＤＰＣ機能評価係数の対応 (3)診療分析の管理体制の充実を図り、診療単価の向上を目指す。 (4)ＤＰＣ（複雑性・効率性）指数向上 (5)入院料1（7対1）の体制維持 (6)内保連、特定内科疾患指数の向上	入院 診療単価	60,200	67,449	7,249	B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
				外来 診療単価	12,000	12,307	307									
				1日あたり 外来患者数	680	660.2	-19.8									
	6	病床稼働の向上	(1)ベットコントロール体制の強化 (2)前方連携の強化、手術件数増加等 (3)後方連携の強化(在院日数の適正化) (4)入院サポートセンターの構築	1日あたり 入院患者数	255	213.3	-41.7	C	C	C	C	C	5.0	1.0	⇒	C
				稼働率 (%)	85	71.1	-13.9									
費用削減	1	薬品費の削減	後発医薬品の切り換え促進や、卸業者と価格交渉等により削減を 目指す。	薬剤費 比率（%）	9.6	9.2	-0.43	B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
	2	診療材料費等の削減	購入価格の低減方法の検討及び使用基準の見直し等により、 削減を目指す。（近隣公立病院とのベンチマーク）	材料費 比率（%）	15.9	17.2	1.28	C	B	C	C	B	7.0	1.4	⇒	C
	3	時間外勤務の適正化	業務改善の推進による、業務効率を図り時間外数の削減を目指す。	給与費 比率（%）	61.5	62.9	1.36	B	B	B	C	B	9.0	1.8	⇒	B
	4	委託費の合理化による削減	委託業務内容・仕様等の精査により、より合理化を図る。また、各業務の契約更新時には、より精査を行う。	委託費 比率（%）	11.9	11.0	-0.93	B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
	5	経費の見直し	経費削減（エネルギー）、（オペレーション）等	経費 比率（%）	24.1	21.9	-2.18	C	A	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
人材確保	1	医師の確保	医師の処遇・労働環境の改善をはかるとともに、不足する診療科医師の招聘、確保を図る。	100床あたり 医師数	25	24.3	-0.7	B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
	2	看護師の確保	急性期医療の診療体制に対応できるよう、常時看護師の確保を行うとともに、働きやすい環境の提供に努める。	100床あたり 看護師数	91	86.7	-4.3	C	B	C	B	B	8.0	1.6	⇒	B
	3	職員が働きやすい環境の整備	職員が働き続けることが可能な勤務体制の見直し等の検討を図る。	医療従事者 の負担軽減	医師負担軽減委員会の活動推進 医師事務作業補助体制加算１（25対1） 業務改善ワーキンググループの開催			B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
研修充実	1	医師研修体制の充実	研修医や若手医師の教育プログラムを充実させ、研修医の増加及び医師のスキルアップを図る。また、指導医の確保や養成についても強化する。	マッチング による定数 のフルマッチ	＜令和3年度初期臨床研修医＞ 三田市民病院臨床研修プログラム研修医4名			B	A	A	B	B	12.0	2.4	⇒	B
	2	看護師確保対策 及び研修体制の充実	看護師の教育システムの充実を図ると伴に、認定・専門看護師の取得をバックアップし、学会・研修会参加への支援を図る。	退職者の補 充	看護学生向けイベントの開催やスタッフ同士が十分な感染対策を講じながら情報交換できる取り組みと勤務年数等に応じたスキルアップのための研修の機会を充実。			B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
	3	その他職員研修体制の充実	コメディカル・事務員についても、研修会等への参加機会を増やし、専門的能力の取得や、スキルアップを図る。また、「院内全体研修」を積極的に実施する。	研修会の充 実	院内全体研修（全13回） イントラを利用した視聴型の研修やWeb研修を採用し、参加しやすい工夫をした。			B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
実施体制	1	業務実行部門の改革	チーム医療の推進を図り業務横断的な改善活動の実施に向け、部門連絡会議を実施。 各部門別取組活動の明確化し、部門別損益管理を図る。	BSC活動の継 続 活動見直し	職員の業務改善要望を定期的に収集し、必要に応じて、上位の業務標準化委員会にて院内展開する運用で継続的な対応を行った。 業務改善WG（全5回）			B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
	2	医療の質向上と患者サービスの向上	業務体制の再確認を常に行い、サービスの充実と質向上に努める。また、接遇研修等の充実を図る。	質とサービ ス向上委員 会の活性化	・クリニカルインディケーターの年度推移の確認 ・外来待ち時間調査 ・病院機能評価翌年度受審決定、各評価項目の見直し実施			B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
	3	市民への情報提供（広報活動）	ホームページの充実・広報紙への掲載を積極的に図り、より広く市民への理解を求める。 市民健康講座の開催	市民講座の 開催 広報活動の 推進	・さんだ生涯学習カレッジへの講義（荒川院長：手術支援ロボット「ﾀﾞﾋﾞﾝﾁ」） ・医師から学ぶ講演会（中村副院長：高齢者が注意すべき感染症とその予防について）			B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
	4	地域医療連携の強化	現在の地域医療連携室の機能をより充実させると伴に、特に前方連携体制の更なる強化を図る。	地域医療の サービス充 実	・紹介促進用冊子「診療のご案内」作成、近隣医療機関への配布。2021年度初診紹介件数6,975件（対前年+509件）2021年度紹介率73.1%（対前年+0.1%）。 ・近隣医療機関からの断らない救急取組強化：近隣医療機関からの救急受診依頼受入れ件数1,215件（夜間、休日含む）。院内及び地域医療機関への周知等の取組により、緊急受診依頼は年々増加し、そのうち約6割の患者が入院となっている。			A	A	A	A	A	15.0	3.0	⇒	A
	5	外部評価委員による評価の実施	当該計画の進行管理を含む、病院の経営状況等を外部の専門委員等に評価いただくことにより、経営の安定化を図り、永続的良質な医療の提供を堅持する。	委員会の実 施（年1回以 上）	改革プランの計画数値の達成状況について評価をいただいた（委員会は未開催）			B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
その他	1	経営の健全化推進	キャッシュフローマネジメントの強化とコスト体質の見直し。 （キャッシュの確保とコスト低減を図る取り組みを積極的に推進する。）	医業収支 比率 (95%)	91.0	91.4	0.4	B	B	B	B	B	10.0	2.0	⇒	B
				経常収支 比率 (100%)	98.8	109.0	10.2									